

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201805600020Q1	科目番号 / Subject code	05600020
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 16031_001		
授業科目名 / Subject	教養特別講義(平成長崎塾) / Colloquium		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	共通基礎科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった, ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟, 坂本龍馬, 高杉晋作, 福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は?文化は?産業は?地域が誇るものは?原爆被災や復興は?...この講義では, そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と, そしてこの長崎大学を育み, かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって, 長崎大学で学び, 長崎の街で学生生活を送る諸君が, 本学や長崎を誇りに思い(愛校精神), 将来, 地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また, 多面的なものの見方, 考え方があることを知り, 長崎のより深い知識, 理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>長崎大学や長崎の歴史, 文化, 文学, 産業の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方, 考え方があることを理解することです。歴史, 文化, 文学, 産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識, 理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>毎回の積極的な授業への出席を前提に, 提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合, レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合, 正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出期日に遅れて提出したレポートは受理しないか, あるいは減点します。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の特性上, 各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると思われますので, 通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし, 各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。		
キーワード / Key word	長崎大学, 長崎, 長崎学, シーボルト, ボンベ, 長崎の歴史, 長崎の文化, 長崎の産業, 世界遺産, 長崎と原爆		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	毎回の積極的な授業への出席を前提に, 受講態度や提出するレポート内容で評価します(100%)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	平成28年度から開講されている必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送る事です。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況（高橋）
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾（相川・特別講師）
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化（相川・特別講師）
第4回	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールの医学伝習（相川・特別講師）
第5回	1) 長崎ことはじめ、長崎が誇る世界遺産1（高橋）
第6回	2) 長崎が誇る世界遺産2、長崎の歴史を築いた人々（高橋）
第7回	1) 長崎とお茶 ?古から現代まで?（太田）
第8回	1) シーボルトが使ったくすり?19世紀長崎での薬の輸入と革新（田中）
第9回	1) 長崎と原爆1（冨塚）
第10回	2) 長崎と原爆2（冨塚）
第11回	3) 壱岐の島?一支國から始まるロマンと苦難の歴史（高橋）
第12回	4) 長崎の歴史散策紹介(1)（高橋）
第13回	5) 長崎の歴史散策紹介(2)（高橋）
第14回	6) 長崎文学の旅、長崎事件簿（高橋）
第15回	7) 長崎検定・長崎通への誘い、まとめ（高橋）
第16回	予備日

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201805860193Q1	科目番号 / Subject code	05860193
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12331_006		
授業科目名 / Subject	教育の基礎 (教育行政・制度論) / Educational System and Administration		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Target students	1,2,3,4年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。</p> <p>さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。</p> <p>キャリア教育を念頭にいた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。</p> <p>近年の教育政策(特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等)の動向を理解している。</p> <p>日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。</p> <p>戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。</p> <p>現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>子どもの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。</p> <p>社会に開かれた学校教育の必要性和具体的な取組について理解する。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>(中島担当分) 毎回の授業後に提出する小課題 (30%), 定期試験 (70%)</p> <p>(中川担当分) 授業及び協議への参画態度 (50%), 定期試験 (50%)</p> <p>(池田担当分) 演習成果資料・レポート (70%), 授業及び協議への参画態度 (30%)</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。 		
キーワード / Key word	過去と現在の教育行政を知る。		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領(文部科学省), 長崎県振興計画, 「危機管理マニュアル」(長崎県教育委員会)
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	15回の講義に毎回、出席すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	共に教育行政について学びを深めましょう。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	学校とは何か: 学校と社会のつながり(担当: 中島)
第2回	学力・意欲の格差(担当: 中島)
第3回	社会階層・ジェンダーと進路選択(担当: 中島)
第4回	教育の課題 教育の公共性と私事化(担当: 中島)
第5回	教育の課題 学校外・地域外での関係性の構築(担当: 中島)
第6回	昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景(担当: 中川)
第7回	教育基本法と教育三法の改正とその理念(担当: 中川)
第8回	教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十次提言)(担当: 中川)
第9回	大学入試改革の変遷(大学入試と社会)(担当: 中川)
第10回	学校現場が取り組む新たな教育(教育振興計画等)(担当: 中川)
第11回	学校における危機管理(子どもの命を守る)(担当: 池田)
第12回	学校における危機管理(子どもの心を守る)(担当: 池田)
第13回	学校, 関係機関が連携した危機管理対応(要対協, チーム学校)(担当: 池田)
第14回	学校, 家庭, 地域社会の連携(社会に開かれた教育課程)(担当: 池田)
第15回	社会に開かれた学校教育(コミュニティースクール)(担当: 池田)
第16回	定期試験